

事業名	中学校スクールランチ			局名	教育委員会	評価年度	23
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止	2	バランスのとれた完全給食に		
			見直し	9	経費削減／メニューの改善／利用率の向上		
			継続	6	経費削減の努力は必要		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 利用率を60%に上げて一食単価を下げるとともに、仕様書の見直しをして、経費の削減に努める。これに向けて、教育関係者、有識者、PTAからなる業者選定会議等で方法を協議し、次回、平成26年度に予定されている調理委託契約の更新に向けて、平成25年度に仕様書に反映し、入札を実施する。 利用率向上に向けて、アンケート対象者を拡大し、試食会を実施するなどして、より多くの意見を聴取してスクールランチの改善に活用する。						
取組内容	物価上昇等によりスクールランチの値上げを行うことから、より魅力的で多種多様な献立を提供するとともに、アンケートの実施やマークシート予約の推進等を引き続き行うことで、利用率の向上を目指す。						
見直し額 (一般財源)	△7,331(△7,331)						

事業名	学校体育センター			局名	教育委員会	評価年度	25
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び 市民判定員の 主な意見	廃止・撤退	5	廃止5		
			民営化	1	民営化1		
			見直し	22	市の関与の縮小3 料金の引き上げ19		
			継続	3	経費の節減2 収入の増加1		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】						
	収支状況の改善目標を25年度中に設定し、使用料収入の増加や経費節減により改善目標の達成をめざす。 利用者について拡大する余地があることから、有料利用者の拡大等により使用料収入額を増額するとともに、管理体制等の見直しにより、委託経費を削減しつつ、収支の状況を確認しながら、使用料のあり方について検討する。						
取組内容	令和元年度は大型扇風機の導入等、利用者がより安全かつ快適に利用ができるような取組みを実施し、有料利用者を含む利用者の拡大を図った。令和2年度以降については、引き続き有料利用者の拡大による使用料収入の増額と経費削減についての検討を進めるとともに、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」における今後の過大規模校対策への取組みに併せ、当該施設の今後のあり方についても検討を進める。						
見直し額 (一般財源)	△482(△482)						